

【その他の課題】

1. 教育・文化の充実

126,038

○ 産業教育設備充実費(教育委員会 高校教育課)

117,225

(167,577)

職業教育の活性化を図り、社会の変化や科学技術の進展に対応できる人材を育成するため、県立高等学校に産業教育設備を整備する。

設備導入校	伊予農業高校など7校
導入設備	金属加工機械等
負担区分	国1/3 県2/3

○ 英語教育改善のための調査研究事業費(教育委員会 高校教育課)

2,498

高等学校等における英語コミュニケーション能力を育成するため、効果的な指導方法等の研究を行う。

研究指定校	宇和島南中等教育学校
研究テーマ	中高一貫校における第2ステージ(3・4年次)の英語指導法の改善について(リスニングを中心として)
事業内容	リスニングの導入方法・指導方法の研究 リスニング教材の研究 など
事業期間	運営指導委員会の設置(委員9人) 21~23年度
負担区分	国10/10

○ 環境観測プログラム推進事業費(教育委員会 高校教育課)

482

米国の提唱により文部科学省が実施する環境のための地球規模の学習及び観測プログラム(グローブ)推進事業に参加し、環境体験学習や地域の環境に関する調査・研究等を行う。

実施校・研究主題	新居浜工業高校 「新居浜市内の大気汚染調査(大気汚染マップの作成)」 宇和島水産高校 「宇和海の海洋観測から未来の海を見つめよう」
事業内容	観測データをグローブ事務局(米国)データ処理センターへ報告 各国から提供されたデータ等を環境教育に活用
事業期間	21~22年度
負担区分	国10/10

中国青少年交流国際音楽祭派遣事業費(教育委員会 高校教育課)

3,334

国際音楽祭に、高校生の音楽部活動団体を派遣し、芸術活動を通じ交流を行い相互理解と親善を図る。

派遣事業	2009日中青少年交流国際音楽祭
派遣先	中華人民共和国 大連市
派遣人数	1校50人(生徒47人、引率教員3人)
日程	21年8月21日~24日 4日間
参加分野	吹奏楽 など

◎ 県民国際理解促進事業費(経済労働部 国際交流課)

2, 499

外国人が安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを推進するため、本県の国際化の現状を分かりやすく紹介する啓発資料を作成・活用し、県民の国際理解の向上を図る。

記載内容

国際交流	在県外国人数の推移や出身国、県内自治体の海外姉妹都市(州)
国際協力	本県出身青年海外協力隊員派遣実績国
国際観光	ソウル便・上海便の運航ルートや利用者数の推移
貿易振興	本県の経済交流協定締結先、県内貿易額の推移 など
作成枚数	33,000枚
配布先	県・市町国際交流協会、各市町、中・高等学校 など
活用方法	国際交流協会の講座やイベント、学校の授業・課外活動、上海便・ソウル便のPR等
委託先	(財)県国際交流協会

2. 生活・福祉等の充実

67, 862

◎ 消費者行政活性化事業費(県民環境部 県民生活課)

29, 260

消費者行政活性化基金を活用して、県消費生活センターの機能強化や消費生活相談窓口の強化等、各種の消費者行政活性化事業を実施する。

消費生活センター機能強化事業

内容 啓発DVDや展示コーナー機器等の整備や事務用品の購入

消費生活相談員等レベルアップ事業

内容 県や市町等の消費生活相談窓口で相談等に従事する者のスキルアップ研修を実施

消費生活相談窓口高度化事業

内容 弁護士相談の拡充(月2回各3時間)

司法書士相談の新設(月2回各3時間)

食品表示・安全機能強化事業

内容 食品表示・安全に関する普及啓発冊子を作成し消費生活相談窓口や保健所等を通じて配布

消費者行政活性化オリジナル事業

内容 啓発イベントや消費生活講座など、オリジナル事業の実施

◎ 市町消費者行政活性化事業費(県民環境部 県民生活課)

29, 594

消費者行政活性化基金を活用して、市町が実施する消費者行政活性化事業に対し補助する。

補助率 県10/10

◎ 風力発電施設低周波音測定調査事業費(県民環境部 環境政策課)

1, 500

伊方町の風力発電施設による低周波音等について、国から測定調査業務を受託し、実態調査を行う。

実施機関 県衛生環境研究所

測定項目 低周波音、一般騒音、暗騒音 など

調査地点 伊方町内5地点(同時測定)

調査期間 年2回(8月、1月)

負担区分 国10/10

○ えひめ結婚支援センター運営事業費(保健福祉部 子育て支援課)

2,633

(9,351)

メルマガ購読者数の急増やセンターに対する期待とニーズの高まりに対応するため、イベント開催回数を増やすとともに、センター事務局の体制強化を行う。

小規模イベント開催回数の増加

小規模イベント(30人程度)を月5回程度増加(月15回→20回)

えひめ結婚支援センター事務局体制の強化

イベント主催企業(応援企業)の開拓やイベント企画の相談等を行う企画コーディネーターの増員(1人→2人)など

○ 愛媛オレンジリボンキャンペーン事業費(保健福祉部 子育て支援課)

4,875

子どもの虐待防止、子育て支援等の推進を図るため、児童虐待防止推進月間(11月)を中心に、シンボルである「オレンジリボン」をキーワードとする普及啓発等キャンペーン事業を実施する。

内容

オレンジリボンキャンペーン啓発用CM放映

愛媛FCの選手出演等による児童虐待防止のCMを商店街(松山市)大型モニタービジョン、県内CATV(10社)で放映

オレンジリボンキャンペーンinニンジニアスタジアム

愛媛FCホームゲームにおいて、パネル・ポスター掲示等を行うテントの設置

オレンジリボンフェスティバルinえひめこどもの城

パネル・ポスター掲示や啓発リーフレットを配布するとともに、親子で作るオレンジリボンコーナーの設置、オレンジツリープロジェクトの実施

オレンジリボンキャンペーンinキッズフェスタ

ヤングファミリー層対象のキッズフェスタ(こども博)に出展(アイテムえひめ)

負担区分 国10/10